

【岩内町】  
校務DX計画

GIGAスクール構想にて整備されたMicrosoft Teamsを活用し教職員が情報共有をすることで、クラウドツールの便利さを実感し、校務の効率化が進んでいる。

さらなるコミュニケーションの迅速化及び活性化、校務の負担軽減を図るため、以下の校務DX計画を推進する予定である。

○ 「GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題を解決する。

○ クラウドツールの利活用

教員と保護者間、教員と児童生徒間、学校内の連絡のデジタル化を徹底し、効率化する。

校務業務について、多様な働き方実現に向けた環境整備として、令和8年度から教育委員会サーバーを、端末や場所に依存しないクラウドサービスへ移行する。

【具体例】

◆教員と保護者間

- ・ 児童生徒の欠席・遅刻・早退連絡  
⇒ 児童生徒からはアクセスできない環境でForms等を活用する
- ・ 業務時間外の保護者からの問い合わせや連絡事項  
⇒ 汎用クラウドツール（グループウェア）等を活用する

◆教員と児童生徒間

- ・ 児童生徒への各種連絡  
⇒ 汎用クラウドツール（オンラインストレージ等）を活用し、  
時間割、テスト範囲等の共有をデジタル化する
- ・ 宿題（学期中、長期休暇中）の実施・採点  
⇒ Formsやデジタルドリル教材等を利用しデジタル化する

◆学校内の連絡

- ・ 職員会議  
⇒ クラウド上で資料を配布・保存する  
⇒ 汎用クラウドツール（グループウェア）等で検討事項を事前に情報共有し、  
あらかじめ意見を求める

○ FAXでのやり取り・押印の見直し

FAXでのやり取り・押印の慣行を見直し、FAXの使用・押印を原則廃止に向けた取組を進める。

【具体例】

◆複合機の機能を活用

- ・ 複合機で紙をスキャンし、そのデータをメールで送信する
- ・ 複合機のメールアカウントで受信したファイルを印刷する

#### ○ 不合理な手入力作業の一掃

現在、校務業務では多くの手入力作業が存在する。不合理な手入力作業を洗い出し、改善策を通じて教職員の負担軽減を図る。特に、校務支援システムへの名簿情報の不必要な手入力の一掃に取り組む。

#### ○ 校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討を実施

本町では、令和7年度中に統合型校務支援システムの導入を予定している。

#### ○ アクセス制御を前提としたネットワークにおける情報セキュリティの確保

文部科学省から令和5年3月に提示されている「GIGAスクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言にある「次世代の校務DXの方向性」を参考に、いわゆるゼロトラストの考え方に基つき、アクセス制御を前提としたネットワークに移行し、ネットワーク統合により校務系・学習系システムの接続性を確保するとともに、教職員が使用する端末の一台化やテレワーク環境の整備、業務のペーパーレス化等を推進していく。